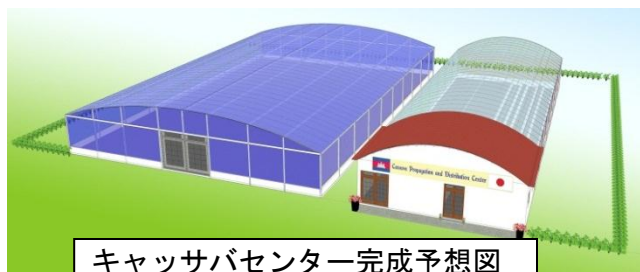


平成24年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典



3月27日（水）、平成24年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、隈丸大使と被供与団体4団体（バタンバン大学、カンボジア農村開発チーム、パイリン州農村開発局、プレアビヒア州公共事業運輸局）の各代表が贈与契約書に署名を行いました。

バタンバン大学が実施する案件では、大学実験室に病害虫耐性キャッサバを培養するための機材（高圧蒸気滅菌器50ℓ、100ℓ及び無菌実験台）を設置し、大学の農場に培養されたキャッサバを栽培するための2棟のスクリーンハウスを建設します。栽培されたキャッサバを大学がワークショップを通じて、地域の農家に広く普及することにより、地域のキャッサバ生産量が増加し、地域農民の生計向上が期待されます。本案件の実施によりバタンバン州に住む農民のうち約1,150名が病害虫に強いキャッサバ種茎と作付け技術を得て、安定したキャッサバ栽培ができるようになります。



キャッサバセンター完成予想図



コミュニティの農家の様子

また、カンボジア農村開発チームが実施する案件では、クラチェ州ソンボー郡の河イルカ保護区域二箇所隣接し、刺し網漁業が規制されている地域（コンポンチャムコミュニティ）において簡易浄水施設・農業用水配水施設の建設と配水管設置、灌漑水路整備及び農業トレーニングの実施を通じ、住民の水へのアクセス確保と農業技術の向上を目的として農村開発を実施します。本案件の実施により、2村の2,073名が安全な水を手に入れられるようになります。また、コミュニティ内で農業トレーニングを受けるのべ125名の農業技術が向上が見込まれ、農業による収穫量の増加と安定した収入確保が可能となります。

加えて、パイリン州農村開発局が実施する案件では、パイリン州パイリン市オータワオ地区において、国道57号線と交わる全長7,400mの農道にカルバート14基と洪水吐3基を建設することで雨季の洪水による被害を防ぎます。加えて、農作物の輸送や観光客の増加によって経済の活性化が期待されています。本案件の実施により、オータワオ地区に住む5村3,307名が地域社会に安全で快適な環境を手に入れることが期待されています。



プレアビヒア州公共事業運輸局が実施する案件では、プレアビヒア州都中心部のコンポン・プロナック地区において、雨水貯水槽36基を備えた直径0.8mのコンクリート製排水管を市内の二箇所、全長900mを地下に整備することによって、雨季の洪水による道路の損傷を防ぎ、周辺の衛生環境改善を図ります。本案件の実施により、州都に住む周辺住民10,000名以上が安全で快適な生活環境を手に入れることが可能となります。

式典では、隈丸大使がスピーチを行い、今回の支援により整備されるキャッサバセンター、浄水・配水施設、農道及び州都の排水施設が、被供与団体と地域の住民によって適切に管理されることを望んでいると述べました。また、今回の支援が、カンボジアの草の根レベルの人々に直接裨益し、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと結びました。続いて、被供与団体4団体の各代表がそれぞれスピーチを行い、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、案件の実施と維持管理に最善を尽くすことを約束しました。

